

# 事務事業評価シート(平成22年度)

## (ソフト事業)

### (A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		こども未来 課	越川昌信	藤原英子
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
トライやる・ウィーク事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H20以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あつたかいまち	(節) 1 のびのび育とう、育てよう	
	個別計画	(基本計画) 学校教育の充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
兵庫県教育委員会補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的的事业	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
地域や自然の中で様々な体験活動を実施することにより、地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め「生きる力」を育むことを目指す学校教育活動を推進する。		補助金の支給	<input type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
中学校2年生生徒	中学校2年生生徒	生きる力をつける

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>		会計名	一般	会計
細目名	教育振興事業	細目名		
予算コード	款 10 項 3 目 2 大事業	予算コード	款 項 目 大事業	予算コード

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度 決算	22年度 実績(見込)	23年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト		千円	2,453	1,781	1,981	
コストの内訳	直接事業費		1,800	1,400	1,600	
	所属内間接費					
	人件費	653	381	381		
投入人員	正職員 嘱託員	人/年	0.12	0.07	0.07	
財源内訳	国・県支出金	千円	900	700	800	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,553	1,081	1,181	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>						
事務事業を構成する業務	手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 見込	23年度 目標
1 推進委員会	体験活動場所の提供	町推進委員会の開催	回	1	1	1
2 事業所巡回		事業所へのお礼	箇所	110	95	110
3						
4						
5						

(ソフト事業) (B面)

事務事業名 [ トライやる・ウィーク事業 ]

6 事務事業の実績 <Do③>		21年度実績	22年度実績(見込)	23年度目標	備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位				
受入れ事業所数	箇所	110	95	110	生徒の希望に合う事業所の開拓

7 事務事業の事後評価 <Check>		(ソフト事業)				担当の把握している課題
チェック項目		該当項目に「○」				
必要性	需要への対応性	住民ニーズは	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない		把握なし
		緊急性は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない		
	利用者・対象者数は		<input type="radio"/> 増加	<input type="radio"/> 減少		横ばい
	他市町と比較して対象者に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			把握なし
町の関与の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
	国や県の事業(サービス)との重複は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある			
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		把握なし
	連携の可能性	他課で類似の事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
他の事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		あるが困難	
民間や他の行政機関と連携できる可能性は		<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		あるが困難	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
		受益者負担を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="radio"/> ある		
有効性	目標の達成度	成果指標が明らかで	<input type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		
		前年より成果が上がって	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない	<input type="radio"/> 横ばい	
	持続の可能性	継続することによる効果は	<input type="radio"/> 高い	<input type="radio"/> 高くない		
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	<input type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない		測定困難
市場化の可能性	既に全部委託済	<input type="radio"/> 更なる委託化が可能である	<input type="radio"/> 委託化の余地があり		委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		1.改善の余地はない		<input type="radio"/>	2.改善の余地がややある	
		3.改善の余地が多い		<input type="radio"/>	4.抜本的な見直しが必要	

# 事務事業評価書

## 8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>トライやる・ウィーク事業

職場からの意見(担当者)								
(課題の解決についての提案など)								
<p>地域事業所の不況による生徒受入先事業所の減少に加え、生徒の希望する業種の偏りが見られる。            また、事業所、生徒、学校ともにマンネリ化にもなっている。事業開始以来10年以上経過しており、トライやる・ウィーク事業を推進にあたり全体的な見直しが必要である。            解決策として、担当者会の開催回数を増やし、受入事業所(特に織物・農業等地場産業の受入事業所)数増について検討と推進体制の充実を図る。商工会と情報を共有し、連携を図る。</p>								
担当課長評価								
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)								
<p>年々受け入れ事業所の数が減少傾向にある。したがって、今後より多くの事業所が受け入れられるよう、商工会と連携をとったり、役場各課の協力を呼びかけたりする中で、生徒が多様な事業所の中から行きたい事業所が選べるようにしたい。また、地場産業の振興という観点から地場産業の受け入れ事業所の開拓も図りたい。</p>								
所管評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了		内部評価 3
教育長評価								
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか)								
<p>内容の充実とともに実施時期(夏季休業日)も検討する。</p>								
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3.内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7.終了・完了		
評価委員コメント								
<p>1年生の時から的事前指導やキャリア教育が大事。早くから取り組みより効果が上がるよう推進されたい。</p>								